

DIRECTFORCEの季刊情報紙

DF NOW

2008年9月発行 NO.9



DFホームページ(DFHP)と記事連動 http://www.directforce.org

最新の情報は、きめ細かく更新されている DFHPをご覧ください。

中間法人 ディレクトフォース 〒100-0003 千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル9F 電話03-5288-7560 発行人・田中健一 印刷・(株)ケーブプリント

第14回総会

経営面で自立性を保ちつつ 社会貢献でできる組織に

第6期(2008年8月期)が終わり、第14回総会が9月11日学士会館で約200名の会員参加を得て開催された。田中代表の基本方針発表が報告された。詳細資料はホームページに掲載

経営面の自立性を保ちつつ

まず田中代表から、DFの経営方針と活動の重点策が以下のとおり発表された。

グループの今期売上は、146億円と10%程度減少したが、今年は経費が昨年より減少し、結果として経常利益は133万円と若干増加した。



経営方針を発表する 田中代表

経営方針は、経営面の自立性を保ちつつ社会に貢献することであるが、利益を出し税金を払うことは、社会貢献の最たるものである。

一方会員数は毎年100名近く順調に増えているが、その割には売上が伸びていないことが反省点。すばらしい会員のポテンシャルを生かしていきつけないことに問題がある。

会員の自立性を尊重し、社会貢献組織へと進化

会員へのアテンド能力を高めるため、砂川、高橋という能力の高い女性を採用した。砂川は特命事項担当ならびに各事業部の副部長を兼務する。会員の会への期待事項と得意な分野のデータ見直しに着手。支援先1ポスティングのソフトを活用して充実をはかっている。

少人数のグループで事務局との意見交換会を開催している。対話で得たヒントを会の運営に生かしたい。これまでに80人が参加。未参加の方にはぜひ参加していただきたい。

アクションプランとしては①収益基盤拡大のためコンサル、サーチの新規案件の開拓や新しいビジネスモデルを考案、②ホームページの情報公開を工夫し、メンバーの交流を進める小集団活動や同好会活動を増やして会員の満足度を高める、③広報委員会を新設、CSR、社会貢献活動に力を入れる、④環境問題に関しては活動対象を絞り、社会に情報発信するDFの新しい

DFグループの業績と状況説明

続いて河村事務局長から、DFとDFマネジメントそれぞれの機能、役割、相互の関係ならびに収益構造と4つの事業分野についての説明がなされた。DFの売上166万円は年会費とつどの会費の合計約100万円(ほぼ会場費、講師謝礼、パーティーの直接費に見合う)とDFマネジメントからの上納金の合計。DFマネジメントの売上は1311万円、グループ自活のためにDFマネジメントの業績が極めて重要である。

今後さらに会員の支援協力をいただきながら、DFマネジメントで収益を



業績報告をする 河村事務局長

スという日に、家内が、頭が痺れて足がフラフラする、と異常を訴えた。幸い近くに日本人医師がいる診療所があり、急遽診てもらったところ、血圧が極めて高い。私も息が詰まる、ビクビク、直ちにヴェニス行き以降の予定をキャンセルし、しばらく息子の家に逗留する事を決心した。

鈴木 宗夫



家内は大変な迷惑を掛けてもうしわけないとしきりに嘆くが、もし別の場所が発症していたらと考えるとゾッと

ロンドンの涼しさ、住いの美しい草花、家庭菜園の新鮮な野菜、あるいは近くにあるリッチモンドパーク等の豊かな自然に癒され、お蔭で家内は10日程ですっかり元気を回復した。

海外旅行 顛末記



張り切った練習上げた旅程は、まずロンドンで数日間時差調整したのち、プラハに滞在している次女家族を加えた3家族がヴェニスに集合し、ヴェニスコンティ監督の名画(?)「ヴェニスに死す」の舞台になったリド島のホテルでファミリーパーティーをやる。その後、パドヴァではスクロヴェニ礼拝堂のジョットの壁画、パルマではコ

今年正月明け、ロンドンに駐在している長男から親父の古希のお祝いをしていたので夏頃に欧州に出て来ないかとの誘いが来た。大変うれい話で、6月末には荒川化学の社外監査役を退任することもあり、この際7月中旬から8月にかけて訪欧しようと思いついた。

レジオの聖母被昇天の天井画を鑑賞した後プラハに入る。プラハでは滞在中ブダペスト一泊の小旅行も折り込む。再びロンドンに戻って全英女子ゴルフを観戦した後、息子の車でフランスに入り、アルザスローヌ地方を訪

コンサルの現場から 片道5時間、毎月1回の訪問 4年で再生する

梅津 善徳



DFではコンサル事業として、数多くの企業の指導をしています。梅津さんは株式会社ホタニを生産管理の面から支援し、4年で見事に再生しました。そのレポートからDFコンサル事業の一端を見てみたいと思います。

まず、グラフを見て下さい。(株)ホタニは生産管理プロジェクトの活動を実施して見事にV字回復し、再生しました。

メインバンクの阪和銀行が破綻して整理回収機構(RCC)の傘下に入ったのが12年前。そのRCCから突然「後4年だけ待ちます。黒字体質を確立してください」と通告されたのが6年前。穂合社長には青天の霹靂であったと思います。

水野前代表から「梅津さん、ホタニのコスト切下げ、やってみませんか」

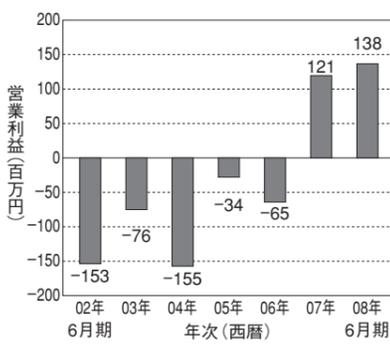


図1 営業利益の推移

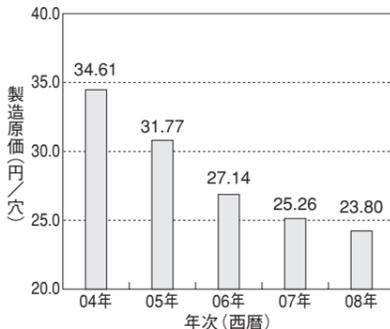


図2 製造原価の推移 (円/穴)

注: 営業利益のグラフは西暦2002年から2008年まで(コンサル開始は西暦2004年5月12日)

2008年10月~12月 DF Events Schedule

積極参加で交友を深めよう

Table with columns for date, event name, and location. Includes events like '10月勉強会', '11月勉強会', '12月勉強会' at the University of Tsukuba.



勉強会レポート

● 詳しい内容はホームページを「閲覧」してください ●



6月 堺から世界へ

人と自然のふれあい

講師・島野喜三氏

講師は、自動車業界で世界的なブランド力を誇る株式会社シマノを率いる島野喜三会長。

シマノは1921年、父の庄三郎氏が堺市で創業、87年の歴史を持つ。そのシマノを、島野会長が、徹底した顧客主義を貫き、世界的企業に育てた。「チームシマノの基本理念」として「人と自然のふれあいの中で、新しい



チームシマノの基本理念を語る

価値を創造し、健康と喜びに貢献する」という使命を掲げ、自転車と釣りの2つの分野でその企業理念の実践を目指してきた。その真摯な経営姿勢とマネジメントを話していただいた。

島野会長は三男だが、父の病気でシマノに就職。1965年始めてアメリカに進出。それから27年間アメリカに滞在、そこでのビジネス活動が世界のシマノの基礎となった。

7月 炭素繊維複合材料の現状と将来

講師・上浦正義氏

講師は東レ株式会社専務取締役複合材料事業部長の上浦正義氏。

ゴルフクラブやテニスラケットで親しみのある炭素繊維の世界市場は東レをはじめとした日本企業3社でその7割を占め、東レはそのナンバーワン企業であり、炭素繊維事業は将来性が期待されている東レの主要事業分野である。炭素繊維の商業生産は1971年から



炭素繊維事業に夢を託す

ら始まり、10年単位で用途拡大し「長期」「拡大期」を経て、2004年ごろから航空機用途が急拡大し、更に自動車用途にも広がり「本格的拡大期」に入っている。ニッチな素材に止まっていた炭素繊維が未来を変える大型素材になりつつある。

そのナンバーワン企業で事業展開のリーダーを務める上浦氏に炭素繊維の現状と将来の展望を語っていただいた。

8月 私の仕事観——中国農業のプロジェクトに絡んで

講師・瀬戸雄三氏

講師はアサヒビールをシェアナンバーワン企業に育てた同社相談役の瀬戸



中国農業プロジェクトへの挑戦を語る

雄三氏。食糧問題、農業問題に関心の深い氏は、アサヒビールが中国山東省で進めている農業プロジェクトに現役のリーダーとしてかかわっている。このプロジェクトは中国に日本の先端の農業技術、農業経営を導入することと、中国農業が抱えているさまざまな問題解決に貢献することを主な目的としている。同時に、完全な循環型の農業の技術を開発する実験場でもある。

新人監査役

濱本 龍彦



サーチ事業部の紹介でベンチャー企業の監査役を務められている濱本氏に、監査役としての心構えをうかがいました。

★

監査役が飾り物であるとか、閑散役と揶揄されていたのは、昔の話です。90年代の初めからの度重なる法改正により、監査役の権限と責任が大きくなり、監査役を引き受けるには相当の勉強と覚悟が必要となりました。

いくつかの会社の監査役を経験していますが、次のような点を意識しながら、監査役としての自分のスタイルをどのように努めています。

・ 監査という立場で、会社の成長・発展を支えるという気持ち、トップあるいは創業者の成功を応援する気持ちを持つことが大切。これがトップとの信頼関係をつくり、その上で、馴れ合いでもなく、対立でもない適度な距離感の維持が必要。
・ 会社が上場会社かどうか、上場を目指している会社か、大会社か中小会社か、同族会社かなど会社の状況によって、監査役に期待されるものは法的にほぼ同じでも、実際の場では違い、あるいは重点の置き所が異なり、また時の経過とともにそれが変化する。
・ 監査報酬は会社のコストです。株主はじめ会社の関係当事者、会社およびその経営陣に対して、監査役として、コストに見合う役割を果たす。

高齢者の方に蕎麦を振舞うボランティア活動

千代田区立高齢者センターが8月1日に「そば打ち試食会＆音楽会」を開催。DFはボランティア活動の一環として一昨年より協力してきましたが、今年も蕎麦打ち同好会の有志10名が参加しました。



ゆでたての蕎麦を食べていただきました。同好会メンバーが心を込めて打った蕎麦は大好評で、あつという間に品切れとなりました。そのあと音楽会場でDF会員の三枝さんが所属する男性カルテット「サ・セインツ」によるコーラスを楽しみ、最後にDFコーラス同好会メンバーと高齢者の方々全員が加わり、大合唱で楽しい催しはお開きとなりました。

高齢者センターの強い要請もあり、年末12月26日(金)に本年2回目のボランティア活動を行う予定です。
(世話役 市古 紘二)

同好会ニュース

映画同好会

映画の話のときは青年に戻る

平成20年7月4日、第1回の映画同好会が開かれ、本格的活動が始まりました。会員は15名(内女性1名)で当日は13名出席でした。

最初は自己紹介をかねて好きな映画ベスト3を話してもらいました。初めは堅苦しい雰囲気でしたが、映画の話になると舌も滑らかに、持ち時間をオーバーする勢いになりました。

いずれの方も、映画の話をしていられる時は映画青年の顔になり、若い心をお持ちだと言った印象を受けました。今後は2カ月に1度、情報交換、映画鑑賞、講演会、座談会などを予定しています。

(世話役 真木郁夫)

写真同好会

初の撮影会にメンバー張り切る

写真同好会は1月に7名のメンバーでスタートし、その後10名となりました。2カ月に1回開いている例会には各自が作品を持ち寄り、講師の瀬崎さんから講評を受けるとともに、各自の

- 前川 榮夫①41年②日本電信電話③東京大・法
- 家富 恒志①41年②富士銀行③東京大・法
- 本多 清①41年②富士銀行③東京大・法
- 中村 光一①42年②厚生省③名古屋工業大・工
- 福田 誠①42年②新日本製鉄③東京大・法
- 大富部 喜彦①42年②富士銀行③慶応大・法
- 松延 直之①37年②トーマン③京都大・法
- 堀田 博司①43年②新日本製鉄③東京大・法
- 鉄③一橋大・社会
- 詫摩 武裕①46年②三菱東京UFJ銀行③東京大・経・米
- 国ミシガン大・ビジネススクール
- 日暮 久嗣①45年②東京電力③横浜国立大・経
- 鈴木 洋次①42年②大正海上火災③慶応大・法

新入会員紹介

①生年(西暦) ②経歴 ③学歴

入会者についての詳細はホームページを参照してください。

- 堀部 勲夫①49年②愛知電機③愛知工業大・工
- 瀧田 正勝①45年②丸紅③一橋大・社会
- 根本 弘一①41年②大正海上火災③早稲田大・第一商
- 柳館 純純①41年②伊藤忠③早稲田大・商
- 鈴木 皓式①44年②愛知製鋼③早稲田大・教育
- 堀口 助①43年②日本銀行③早稲田大・政経
- 小松崎 英雄①43年②常陽銀行③中央大・法
- 長谷川 秀夫①55年②東芝③早稲田大・商
- 内山 富生①50年②日本中央地所③明治大・法
- 高池 久和①48年②東レ③京都大・経
- 大槻 紀夫①45年②帝人③一橋大・経
- 北条 康正①42年②富士銀行③大阪大・経
- 伊藤 文夫①47年②丸紅③東京大・経

作品毎にその日の「BEST」を選んでもらっています。オブザーバー参加からメンバーになられた例もありますので、関心をお持ちの方は例会(奇数月の第2木曜)にぜひお気軽においで下さい。

初めての試みとして9月には「皇居東宮苑」で瀬崎講師指導のもと撮影会を催しました。メンバー一同張り切ってシャッターを押ししていました。

(世話役 曾山 高光)

ダイビング同好会

伊豆大島で初ツア、7本を満喫

本年1月に発足。記念すべき第一回ダイビングツアーを7月11・13日に伊豆大島で開催。

ダイビングをするにはCカードというライセンスが必要ですが、横井・遠藤両氏と杉山は取得済みで、三木氏は今回の伊豆で実技認定を終了され無事Cカードを取得され、これからはいつでもダイビングが可能となりました。

平均年齢67歳の若若しい(?)ダイバーは天候にも恵まれ、7本(二回に1本のボンベを消費するので7回と言う意味です)潜り、十分にダイビングを堪能し、怪我や事故も無く無事東京に帰りました。

次回はおつと南、沖縄?フィリピン?サイパン?パラオ?等々の話題が早くも出ました。
(世話役 杉山孝義)

美術同好会

第1回「彩遊会」

グループ展に向けて

7月吉日、神田「うさ忠」に腕に覚えのある画伯12名が準備会に集合。冒頭、グループ展の幹事安永さんから協議事項が終わるまで飲酒厳禁とお達しあり、従順に(?)従う中で役割分担が予定通り決められました。

案内状(酒井)、名札(和才)、目録(日原)、出展調整飾付(安永)、会計(香西、芳名帖等(藤井)、パーティー(木村)、写真(池田、三木)。常に全員参加をもモットーとする彩遊会にふさわしい陣容となりました。

美酒が入ってからは熱血漢の酒井さんから早くも凶案の説明、会計の香西さんは参加費の一部を徴集、前歴を活かして運用を任せるなど冗談、喝采等などが飛び交う中で気心の知れた仲間の親睦は過ぎていきました。

プロ級から下手の横好きまでバラエティに富む展示会。
...おほかたのびのびとした絵心を感じていただければ...乞うご期待
(世話役 日原 健)

編集後記

第14回総会が終わり、特集でこの内容をお伝えしましたが、DFを取り巻く環境は大きく変わっています。DF・NOWが情報源的確にお伝えするメディアでありたいと考えております。
(常信)